

実力医の 履歴書

外科系 I

編集 中村 康生
(セカンド・オピニオンを推進させる会)

食道癌
胃癌
大腸癌
肝・胆・膵癌
肺癌

手術を受けるならこの先生!!

実力外科医546人の累積手術数
年間執刀数・治療成績を公開!

実力医の素顔を紹介 《経歴・所属学会・資格・

手術に際しての心構え・趣味・特技・健康法》

セカンドオピニオンの受け方

ライフ企画

〈編集者紹介〉

中村 康生

1946年愛知県生まれ。

金沢大学教育学部卒。

新聞記者を経て、現在、医療
ジャーナリスト、セカンド・オ
ピニオンを推進させる会代表。



■編集

田巻 裕子

湯本 明子

泉 恵子

友松 紀子

■表紙

中村 利絵

実力医の履歴書 外科系 I

2006年9月25日

第1版第1刷発行
価格はカバーに表示

編集 中村 康生 (セカンド・オピニオンを推進させる会)

発行者 中村 民世

発行所 株式会社 ライフ企画

〒253-0053 神奈川県茅ヶ崎市東海岸北5-15-51

TEL0467(88)7701 FAX0467(88)7702

印刷 株式会社 クイックス

©Yasuo Nakamura

Printed in Japan

落丁・乱丁本はお取り替え致します。

ISBN4-947645-47-4 C2047

本書を無断で複写(コピー)することは、著作権法上で禁じられています。



木村 理

きむら わたる

山形大学医学部附属病院
山形県山形市飯田西 2-2-2

消化器・一般外科
☎ 023-628-5336

累積手術数(個人) 約 3,000 例以上(膵癌・膵腫瘍など 250 例、肝癌など 100 例、胆道癌など 100 例)。

年間執刀数(個人) 100 ~ 200 例(肝癌 30 例、胆道癌 10 例、膵癌 30 例、近 8 年間の平均)。

科の特色 消化器(食道・胃・小腸・大腸・肝・胆・膵疾患)、乳腺・甲状腺疾患に開拓する様々な外科的診療。医師はそれぞれの専門分野を持ちながら偏りなく全身を診療できる能力を有し、いつでも外科分野における最良の医療を行うことを目標としている。

科の症例数・治療・成績 山形大学消化器・一般外科における最近 7 年間の肝胆膵手術症例 330 例において「手術在院死亡なし」を更新中★膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN)の病態・診断・治療については、これまで力を入れてきたこともあって最近手術数が急増している。IPMN で患者様を絶対に失わないことを目標に努力している。膵癌の治療についても局所の完全切除を目指した手術を行っている。つまり膵頭神経叢の断端における癌の有無を 20 ~ 30 カ所の迅速病理組織診断に供して術中に診断しており、海外からも高い評価を得ている★肝細胞癌切除患者 = 死亡退院 0.0%、5 年生存率 60.3%★胆管癌切除患者 = 死亡退院 0.0%、5 年生存率 28.9%★胆のう癌切除患者 = 死亡退院 0.0%、5 年生存率 64.2% (stage I : 100%、II : 100%、III : 0%、IV : 0%)★膵癌(通常型)切除患者 = 死亡退院 0.0%、1 年生存率 59.2%、2 年生存率 33.3%、3 年生存率 25.0%、5 年生存率 18.7%★膵管内乳頭粘液性腫瘍切除患者 = 死亡退院 0.0%、5 年生存率 82%★胃癌切除患者 = 死亡退院 0.59%、5 年生存率 77.2% (stage IA : 94.1%、IB : 89.8%、II : 80.0%、IIIA : 39.0%、IIIB : 28.6%、IV : 21.7%)★大腸癌切除患者 = 死亡退院 0.58%、5 年生存率 71.1% (stage 0 : 93.2%、I : 91.0%、II : 83.3%、IIIA : 67.8%、IIb : 67.8%、IV : 23.7%)★乳癌切除患者 = 乳房温存手術率 53.1%、死亡退院 0.0%、5 年生存率 98% (stage 0 : 100%、I : 100%、IIA : 96%、IIB : 100%、IIIA : 100%、IIIB : 100%、IV : 100%)。

外来診療 受付 = 月・火・木の午前 8 時 30 分 ~ 11 時。木村(理) = 木午前(初診・再診)。
セカンド・オピニオンの受け方 地域医療連携センター(☎ 023-628-5160)で予約受付をする。所定の予約票に記入の上、FAX 送信する。保険対象。

略歴 1953 年埼玉県生まれ。72 年埼玉県立浦和高等学校卒。79 年東京大学医学部卒。79 年同大学第 1 外科、胸部外科、小児外科、麻酔科医員。82 年同大学第 1 外科入局。83 年東京都老人総合研究所臨床病理学部門研究員。87 年獨協医科大学越谷病院外科講師。90 年ドイツ、ヴュルツブルグ大学に 2 年間留学。92 年東京大学医学部第 1 外科助手。97 年肝胆膵・移植外科講師。98 年山形大学医学部消化器・一般外科(第 1 外科)教授。

所属学会・資格 日本膵臓学会(理事・評議員)、日本外科学会(評議員・指導医)、日本肝胆膵外科学会(理事・評議員)、日本消化器外科学会(評議員・指導医)、日本内分泌外科学会(理事・評議員)、ISDS 会員、IHBP 会員、IASG 会員、医学博士。

著書・編集書・論文 「Knack & Patifalls 膵膵外科の要点と盲点」編集、「栄養アセスメントの実践」監修、「消化器疾患最新の治療 2005—2006」。「専門医のための消化器病学」「今日の消化器疾患治療方針 第 2 版」。

手術に際して心がけている点 絶対に手術で患者を失わないこと。

診療中に心がけている点 「わが手よ、心をも癒せよ」と思いながら診療にあたっている。

名医の条件 疾患に対する治療戦略のあくなき追求、日々の真摯な診療の蓄積および患者の気持ちになって考えること。

趣味 将棋。

私の健康法 歩くこと。

もし医師でなかったら... 小さいころから医師を目指していたので想像不可能。